



管理画面操作マニュアル「ソースクリーニング」

v1.20.2
2026 年 7 月 27 日更新

目次

概要	3
権限設定	3
ソースクリーニング一覧	4
ソースクリーニングの新規登録.....	5
ソースクリーニングの編集.....	7
ソースクリーニングの削除.....	8
ソースクリーニングの設定	9

概要

指定したタグや属性、文字列を対象に、不要な要素を削除したり、特定の値へ置換したりすることで、HTML を統一したルールで管理できます。

対象には、タグ名、属性名、文字列、または正規表現が指定できます。

「削除」を選択した場合は対象を削除し、「置換」を選択した場合は指定した値に置き換えます。

ソースクリーニングを設定すると、記事ページ作成際に自由入力欄下部に「ソースクリーニング」ボタンが出てきます。

クリックした際、設定した情報が削除、置換されます。



デモサイト URL : https://demo.ss-proj.org/.s1/cms/source_cleaner_templates

権限設定

ソースクリーニングの閲覧・編集等をするには、権限が必要となります。

[サイト設定]の[権限/ロール] 標準機能の「運用ツールの利用」にチェックを入れてください。

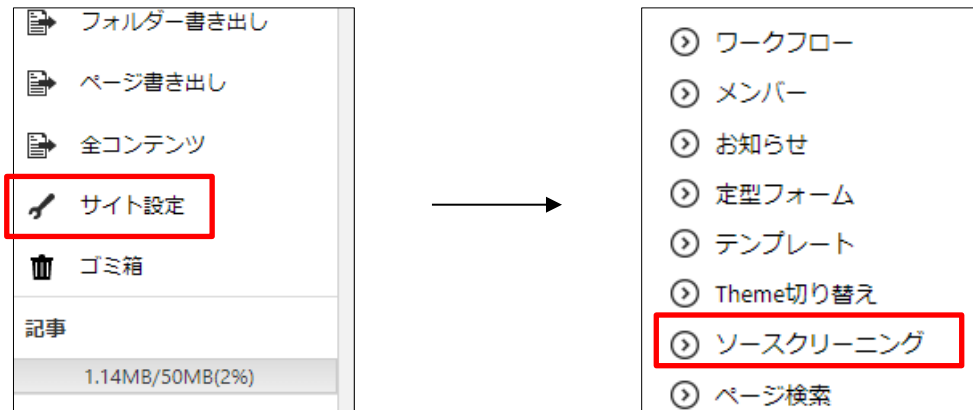


詳細は、機能リファレンス「権限ロール」をご参照ください。

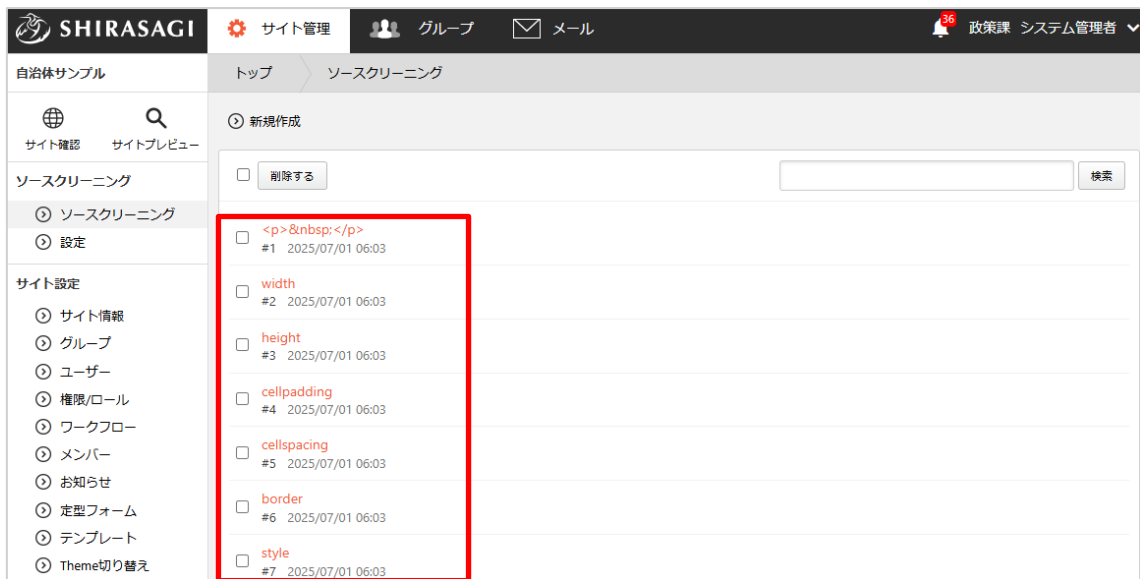
https://www.ss-proj.org/download/manual.html#kengen_roru

ソースクリーニング一覧

(1) 左サイドメニューの[サイト設定]→[ソースクリーニング]をクリックします。



(2) 設定されているソースクリーニングが一覧表示されます。



ソースクリーニングの新規登録

(1) 一覧画面で[新規登録]をクリックします。

The screenshot shows the SHIRASAGI system interface. At the top, there is a navigation bar with 'SHIRASAGI', 'サイト管理' (Site Management), 'グループ' (Group), and 'メール' (Mail). Below this, there are tabs for '自治体サンプル' (Municipality Sample) and 'ソースクリーニング' (Source Cleaning). The 'ソースクリーニング' tab is active. On the left side, there is a sidebar with 'サイト確認' (Site Confirmation), 'サイトレビュー' (Site Review), 'ソースクリーニング' (Source Cleaning), '設定' (Settings), and 'サイト設定' (Site Settings). The 'ソースクリーニング' section is expanded, showing a list of items. The first item is highlighted with a red box and contains the text '新規作成' (New Registration). Below this, there are checkboxes for '削除する' (Delete) and a text input field. The second item is a redacted entry with the text '<p> </p>' and a timestamp '#1 2022/06/24 19:07'.

(2) 必要事項を入力します。

The screenshot shows the '基本情報' (Basic Information) form for Source Cleaning registration. It contains three fields: '名前' (Name) with a red question mark icon, '並び順' (Order) with a red question mark icon, and 'ステータス' (Status) with a red question mark icon. The '名前' field is empty. The '並び順' field contains the value '0'. The 'ステータス' field is a dropdown menu with '公開' (Public) selected.

名前	クリーニング名を入力します。※入力必須
並び順	フォルダーの並び順の設定で「指定順」を指定している場合に利用します。 数字が小さいほど一覧ページの上位にリンクが表示されます。
ステータス	公開画面への公開、非公開を選択します。 非公開を選択することで下書き状態での保存や、取り下げが可能です。

ソーススクリーニング

対象の種類 ?

タグ ▼

対象の名称 ?

div

操作 ?

削除 ▼

対象の種別	クリーニング対象の種別を設定します。クリーニング対象は置換または削除されます。 タグ ... HTML タグを設定します。 属性 ... HTML タグの属性(attribute)を設定します。 文字列 ... 文字列を設定します。 正規表現 ... 正規表現にマッチする文字列を設定します。
対象の名称	置換または削除対象のタグや属性の名称、文字列を設定します。 ※入力必須
操作	対象のクリーニング方法を設定します。クリーニング対象のタグや属性の値、文字列を置換または削除します。 削除 ... クリーニング対象を削除します。 置換 ... クリーニング対象を特定の値に置換します。

(3) [保存]をクリックします。

ソースクリーニングの編集

(1) 一覧画面でタイトルをクリックし、詳細画面で[編集する]をクリックします。



チェックボックスとタイトル以外の場所をクリックした場合に表示されるウィンドウ内の[編集する]をクリックして、編集します。



(2) 編集後、[保存]をクリックします。

ソースクリーニングの削除

(1) 一覧画面でタイトルをクリックし、詳細画面で[削除する]をクリックします。



または、チェックボックスとタイトル以外の場所をクリックした場合に表示されるウィンドウ内の[削除する]をクリックします。



または、一覧画面で削除するタイトル横のチェックボックスをクリックして、[削除する]をクリックします。

※[削除する]の横のチェックボックスをクリックすると、すべてチェックされます。



(2) 確認画面で[削除]をクリックします。

ソースクリーニングの設定

(1) [設定]をクリックします。



(2) 現在の設定が表示されます。[編集する]をクリックします。



(3) 必要に応じて変更後、[保存]をクリックします。

SHIRASAGI

サイト管理 グループ メール

自治体サンプル

詳細へ戻る

基本情報

不要なタグの削除 有効

空のタグの削除 有効

不要なクラスの削除 有効

保存 キャンセル

不要なタグの削除	属性のない div, span タグの削除の有効/無効を設定します。
空のタグの削除	空の p, div, span タグの削除の有効/無効を設定します。
不要なクラスの削除	mso から開始するクラスの削除の有効/無効を設定します。